

5 衛生動物に関する検査、相談処理及び調査鑑別 [衛生動物担当]

(1) 年間取扱件数

平成 24 年度の衛生動物検査及び衛生相談の件数は、表 2-5-1 のとおりである。また、衛生動物に関する調査研究のために鑑別及び検査した個体数は、表 2-5-2 のとおりである。

(2) 衛生動物検査及び衛生相談

ア 目的

市民、保健センターなどからの依頼に基づき、衛生動物などの検査（鑑別）を行っている。その検査結果に基づき、衛生上の害についての啓発や駆除方法などの指導を行っている。

イ 結果

衛生動物などの検査依頼の総数は 266 件であった。そのうち、ダニ類に関するものは 50 件で、47 件が室内ホコリ中のダニ検査であった。

昆虫類に関するものは 258 件で、ハエ目が 62 件で最も多く、次いでコウチュウ目が 38 件、チョウ目が 20 件であった。

衛生相談の総数は、314 件であった。内容は多岐にわたるが、ハエ目に関するものが最も多かった。

(3) 調査鑑別

ア 目的

感染症を媒介する昆虫類について、生息、消長及びウイルス等の保有状況を調査し、感染症患者発生や被害拡大の防止に役立てるとともに、市民啓発に資する。

イ 結果

臭気誘引トラップによってヒトスジシマカを多く捕獲し、検査を行ったがチクングニアウイルスやデングウイルスは検出しなかった。人おとり法調査ではヒトスジシマカが昼間、夜間とも活発な吸血活動をみせていた。マダニ調査は、平成 23 年度から引き続いて市内の生息状況を調査し、採集したマダニについてリケッチアの検査を行った。

表2-5-1 衛生動物検査及び衛生相談の件数

	計	平成24年					平成25年						
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
衛生動物検査	266	15	29	32	26	28	57	27	21	4	1	15	11
衛生相談	314	20	35	37	29	36	63	30	24	6	3	17	14
計	580	35	64	69	55	64	120	57	45	10	4	32	25

表2-5-2 衛生動物調査鑑別個体数

項目	個体数
ライトトラップによる蚊成虫調査	241
臭気誘引トラップによる蚊成虫調査	5,008
オビトラップによる蚊成虫産卵調査	10,562
雨水マス蚊幼虫調査	4,171
人おとり法による蚊成虫調査	771
旗ざり法によるマダニ生息調査(リケッチア検査)	171
計	20,924